



平成29年度
みやの環境創造提案・実践事業
活動内容

みやの環境創造提案・実践事業とは

- ▶ 宇都宮市では、持続可能な環境都市の実現に向けた取組を支援するため、環境創造基金を設置し、市民の皆さんからの寄付金を積み立てています。
- ▶ 平成26年度から、この基金を活用して「みやの環境創造提案・実践事業」を開始してまいりました。
- ▶ これまで各団体の自由な発想で課題に取り組んでもらうため、「自由提案」のみでしたが、平成28年度からは、平成28年3月に策定した第3次環境基本計画の策定関係課の施策事業などからテーマを抽出し、そのテーマから募集をする「選択提案」を新たに設定しました。
- ▶ 平成29年度は、前年度から継続して活動を行った2団体と、新たに応募のあった4団体、計6団体に対して活動支援を行いました“宇都宮の環境をもっと良くしたい”と思う学生の皆さんの活動内容をまとめましたので、ぜひご覧ください。

各活動内容のテーマの上段に示しているのは、「第3次宇都宮市環境基本計画」に掲げた施策体系における5つの分野です。

→ ①地域環境 ②廃棄物 ③自然環境 ④生活環境 ⑤人づくり

《地球温暖化:地球にやさしいまちを目指して》

宇都宮低炭素街区 L R e T ~宇都宮を「はしご」する~

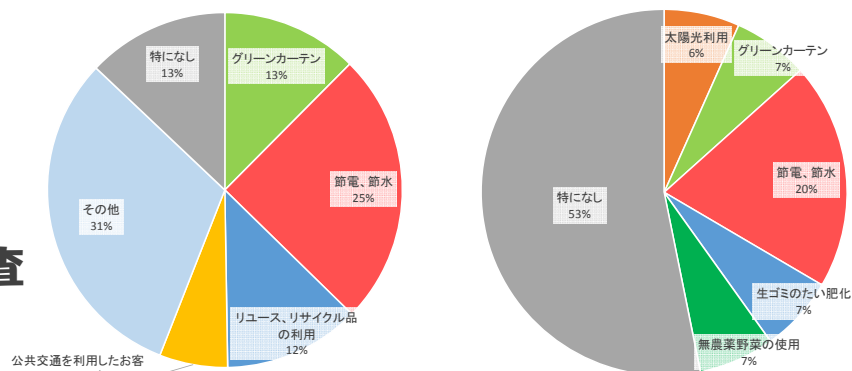
宇都宮大学 建築環境研究室

LRTの各電停エリアの特色を利用し、LRT利用者がそれぞれの電停周辺の街を「はしご」して楽しめる宇都宮を目指す。

主な活動内容

- ① 現状調査
- ② フィールドワーク
- ③ 陽東地区の店舗へのヒアリング調査
- ④ 調査結果分析

【店舗を対象とした環境意識調査】



現在行っている取組はありますか？ 導入したい取組はありますか？

◆活動の成果や感想

- ・ 陽東地区における住宅・商業施設の割合とCO2排出量の概算を出した。
- ・ 店舗では、環境に配慮した取り組みとしては節電、節水等手軽なものが多く行われているが、貸店舗の所が多いため導入コストのかかる取り組みは難しい実態が分かった。
- ・ 店舗への意識調査から、今後協力してもらえる店舗を見つけることができた。



店舗へのヒアリング調査



ヒアリング調査の対象店舗



市民へのアンケート

《地球温暖化:地球にやさしいまちを目指して》

公共交通機関を利用することによる

地球温暖化防止を考える活動

宇都宮工業高等学校 電子機械科・科学技術研究部

公共交通機関の利用を促し、公共交通機関を利用することにより、二酸化炭素や窒素酸化物の排出を低減させ、地球温暖化防止に努められることを周知啓発する。

主な活動内容

- ① ミニ新幹線の作成
- ② 地球温暖化防止活動の啓発パネル製作
- ③ イベント等での啓発活動
 - 日光自然博物館
 - おもちゃ博物館



完成したミニ新幹線

◆活動の成果や感想

- ・ この活動を通して、生徒達の環境活動への意識向上がみられ、イベントでは多くの方々に興味関心を持ってもらう事ができた。
- ・ 今あるものを有効活用し、誰でも気軽に地球温暖化防止に取り組めることがPRできたが、今後はそれをどうすれば実践してもらえるかを考え、工夫が必要である。これからもこの活動を継続し、子供から大人まで周知してもらえるように努めていきたい。



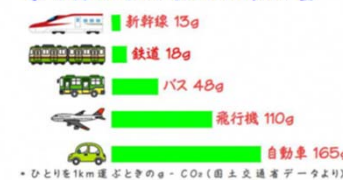
ベースになるシニアカー

地球をまもろう

今、地球の温暖化が進んでいます。温暖化が原因と思われる環境変化や異常気象など、地球環境が悪化しています。温暖化の主な原因とされるのが、温室効果ガスといわれるCO₂(二酸化炭素)です。



乗り物から出るCO₂排出量



みんなが移動手段を工夫し、公共交通機関を上手に利用することで、温室効果ガスの排出を減らすことができます。

みんなの未来のために、いま選ぼう!

啓発パネル

《地球温暖化:地球にやさしいまちを目指して》

まちなかクールシェア・コンサートを活用した各種環境保護 関連活動の周知

宇都宮共和大学 UKU53

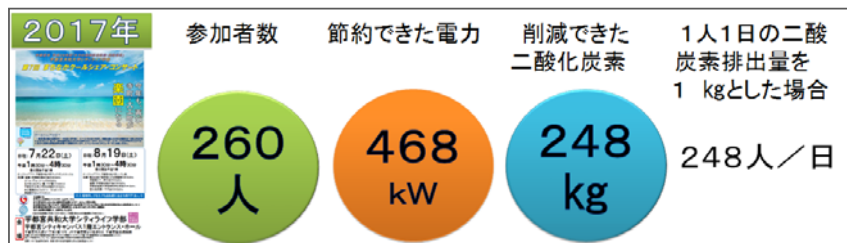
まちなかクールシェア・コンサートを活用し、温暖化防止活動等の各種周知活動を行うとともに、LRT導入に関する周知活動を行う。

主な活動内容

① まちなかクールシェア・コンサートの実施

➤ 7月、8月 2回開催

② LRTラッピングデザインペーパーモデル制作体験



昨年度の実施効果

◆活動の成果や感想

- ・ コンサート参加者数総数は260人。節電の効果は468キロワット、二酸化炭素にして248kgであった。
- ・ LRTペーパーモデル制作体験とペーパーモデル展示は、コンサートの新しい活動の可能性を示唆するものとなった。



クールシェア・コンサート



ラッピングデザインのワークショップ



ペーパーモデルの展示

《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

シルビアシジミ保全活動

～組織培養によるミヤコグサの大量増殖法～

宇都宮白楊高等学校 生物工学科

絶滅危惧種に指定されているシルビアシジミを保全するため、食草であるミヤコグサを組織培養で大量増殖する方法について調査・研究を行う。また、現地での外来植物の除草作業などを行う（昨年度からの継続事業）。

主な活動内容

- ① 外来種の除草
- ② ミヤコグサの培養
 - 発芽率の調査
 - 土壌分析
- ③ ミヤコグサの定植

調査場所	硝酸 (mg/ml)	リン酸 (mg/ml)
圃場 (3月27日)	5	2
畑	0.5	2
森	1	2
鬼怒川河原 (宇都宮)	0.5	2
鬼怒川河原 (さくら市)	0.2	2

土壌分析結果

◆活動の成果や感想

- ・ 帝京大学で行われた生物教育学会でポスター発表を行うことができ、シルビアシジミの危機的状況を報告することができた。
- ・ 宇都宮市の保全区ではシルビアシジミを1匹も観察することが出来なかった。今後は宇都宮市内保全区を少しずつ増やし、ミヤコグサが十分に生育できる場所を確保することで、シルビアシジミが産卵できる場所を増やしていくことが重要であると考えます。



茎からの大量増殖



給水の様子



保全区でのミヤコグサの定植

《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

《人づくり：「もったいない」のころもを持ったまちを目指して》

子どもと学ぶ生物多様性

宇都宮共和大学子ども生活学部 自然観察サークル

生物多様性を理解するための教材づくりを行い、子どもが親とともに身近な自然に触れ合うことで、生物多様性保全の理解につなげていく（昨年度からの継続事業）。

主な活動内容

①生物多様性理解のための教材作りと実践

- ＞マメで生物多様性を理解する
- ＞ビオトープの作成
- ＞「絶滅」を題材にしたクイズづくり

②生物多様性に関する行事の開催

- ＞5月 森の生きもの発見！
- ＞8月 夏の虫取り大作戦！
- ＞11月 秋のたからもの探し

③環境出前講座の実施

- ＞5月、10月 自然観察研究会
- ＞8月、1月 親子で自然体験



ビオトープに集まってきた動物たち

◆活動の成果や感想

- ・ 他団体との連携については、宇都宮市環境出前講座を4回受託した。今後は年齢に合わせた教材を増やして実践したい。
- ・ 生き物の生活場所に関心を持てる子どもを育てるためには、自然を共に楽しむことができ、さらに生物多様性を理解している大人が必要である。
- ・ 今後も、自然遊びの会の実施により、親子の気付き・学びの場を提供したいと考えている。



絶滅クイズ



出前講座の様子



落ち葉の下の宝物探し

《自然環境：自然ゆたかなまちを目指して》

地域・行政と連携をしながら地域資源を活用した省エネ・食育活動の実践

宇都宮白楊高等学校 農業経営科

大谷地区における採掘跡地を利用した倉庫を活用した省エネ施設を地域と連携をしながら考え、食育を通して、環境問題や次世代エネルギーなどについて、次世代の子どもたちに伝える活動に取り組む。

主な活動内容

- ① かぼちゃの栽培
- ② 大谷石採掘場跡地を活用したかぼちゃの貯蔵試験の実施
- ③ 給食交流会

品種	冷蔵庫腐敗率	採掘跡地腐敗率
みやこ	0%	50%
くりこし	0%	40%
ほっとけ栗たん	0%	70%

貯蔵試験の結果

◆活動の成果や感想

- ・ 大谷石の魅力が環境問題と結びつけ、自分たちが住む地域を理解し、環境問題への関心を高めることができた。
- ・ 貯蔵力ポチャ試験の報告を通して小学生に身近な環境資源を紹介することができた。その他、市内のイベントにおいて、貯蔵力ポチャの展示や生徒による活動内容の報告発表などを行うことで、多くの市民の方に私たちの活動を紹介することができた。



かぼちゃの収穫



貯蔵庫への運搬作業



給食交流会の様子



お問い合わせ

宇都宮市 環境部 環境政策課

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

TEL 028-632-2418

FAX 028-632-3316